

- 当社は、産業廃棄物の焼却処理にあたり、既存の間欠運転型焼却設備を省エネルギー性能の格段に優れた連続運転型のストーカ式焼却設備へ更新するとともに、廃熱回収発電装置を導入します。
- これにより、処理効率の向上とCO₂排出量の削減を一体的に進めることで、環境負荷の低減と付加価値の創出を図ります。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2026年5月～2029年4月

2. 生産性向上目標

炭素生産性を35.3%向上させる。

3. 前向きな取組の内容

既存の間欠運転型焼却設備を最新型の焼却設備へ更新するとともに、自家消費を目的とした廃熱回収発電装置を導入し、処理効率の向上とエネルギー起源CO₂排出量の削減を図ることにより、炭素生産性を35.3%向上させる。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

<取組の内容のイメージ>

